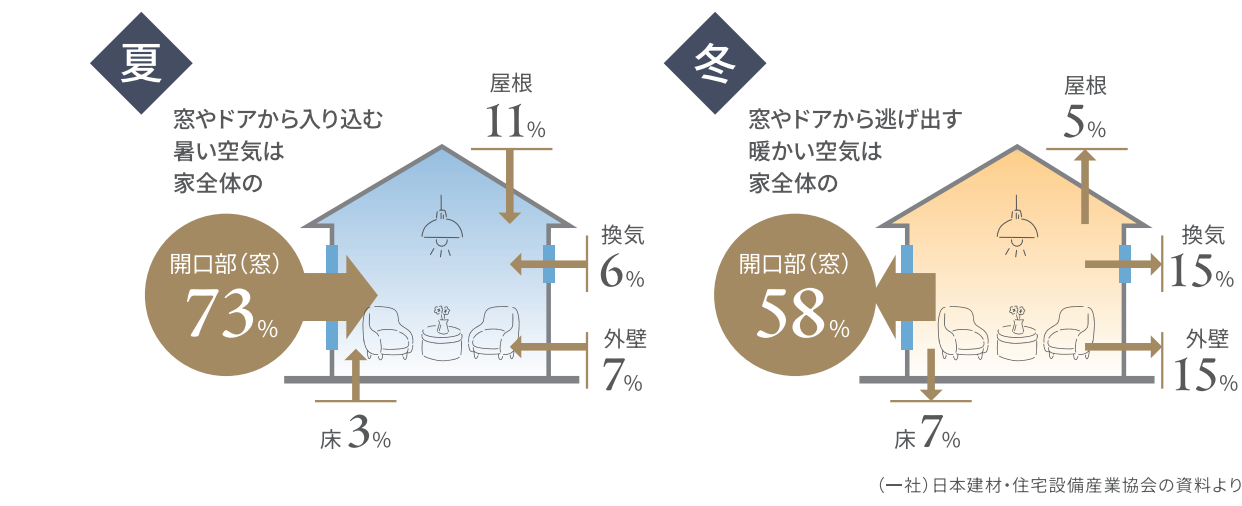


冬暖かく、夏涼しい家にするために

断熱とは、熱が移動するのを防ぐことです。断熱を行うことで、
外気の温度変化の影響を少なくし、室内を快適な温度に保つことができます。



断熱性能等級		UA値	
等級7	ZEH水準を上回る等級	0.26	新築住宅
等級6		0.46	
等級5	ZEH水準	0.60	多くの既存住宅
等級4	平成28年基準	0.87	
等級3	平成4年基準		
等級2	昭和55年基準		
等級1	昭和55年基準に満たないもの		

屋根・壁の断熱に「高性能グラスウール」を採用

グラスウールはシロアリや腐朽菌の害がなく、燃えず、有毒ガスも発生しません。高温多湿でも劣化しにくく、吸音性に優れています。屋根や壁に隙間なく施工することで断熱性と気密性を高め、また、快適な室温を逃がさず外部からの騒音もおさえます。健康的で快適な室内環境を長く保ちます。



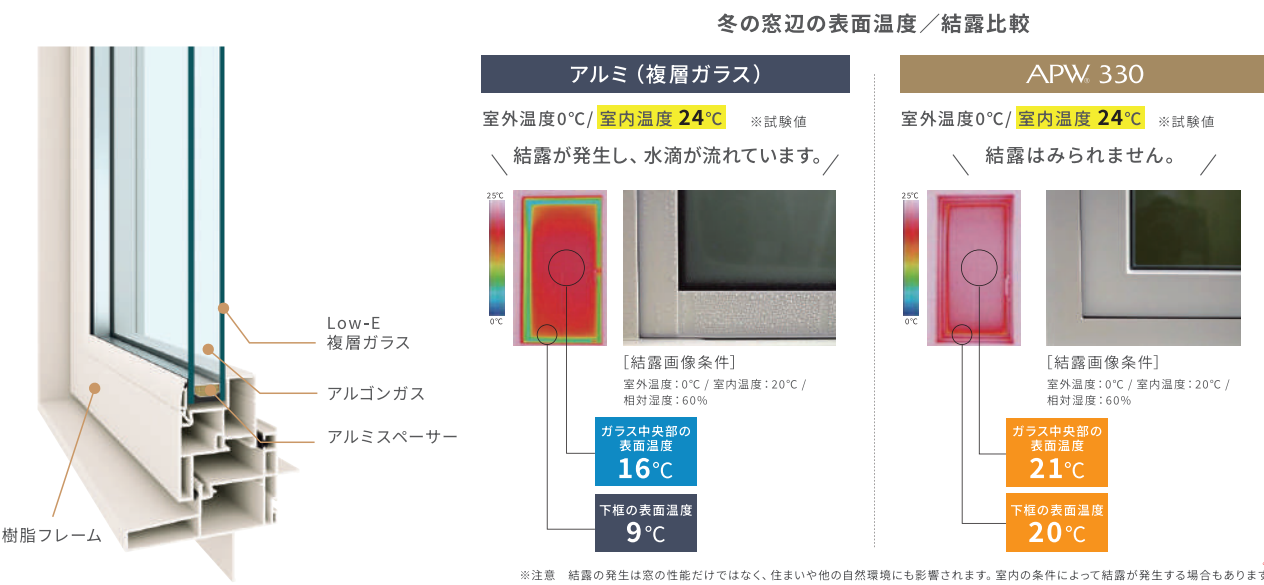
断熱性能等級5がスタンダード※

&RESORTはZEH断熱基準である断熱等級5をスタンダードとしています。2030年には省エネ基準の水準が引き上げられ、断熱等級5が義務化される予定。将来あたりまえになっていく断熱性能で快適・安全で光熱費もお得になる未来の住まいが、&RESORTのスタンダードです。

※お客様のご要望に応じ、断熱等級6・7も対応可能です。

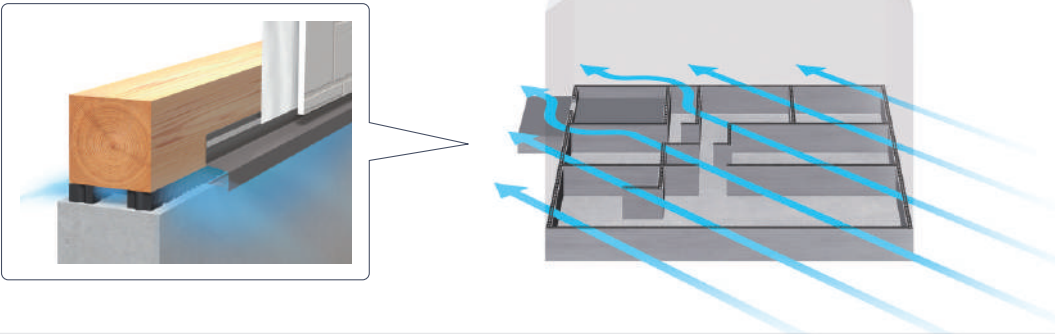
ベストな家づくりを追求してたどり着いた「APW330」全棟採用

&RESORTに暮らす皆様が、本当に「過ごしやすい」環境とは何か。暑い日も寒い日も、いつでも快適に過ごしていただきたい。その思いから、私たちがたどり着いた答えの一つが「APW330」の全棟採用です。ほかではなかなか実現が難しい高性能樹脂窓の全棟採用により、夏は涼しく、冬は暖かい快適な暮らしをお届けします。



湿気を逃がし住まいの耐久性を高める「基礎パッキン」

基礎パッキンを使うことで基礎の周囲を効率よく換気。湿気を逃がしやすく、シロアリが好む暗い湿った環境をなくします。さらに、基礎と土台を完全に分離することで、土台への湿気の上昇を防ぎ、建物の耐久性を高めます。これにより、長寿命で安心できる住まいを実現できます。



熱ロスが少ない「省エネ・快適」な 全熱交換型換気システム

※全熱交換型換気システムは2階建てのみの設置となります。

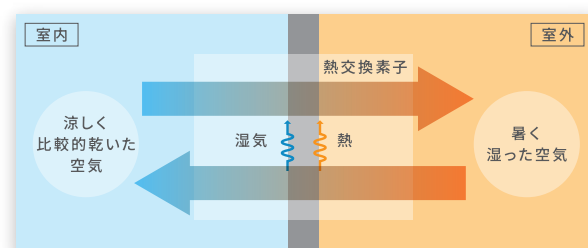
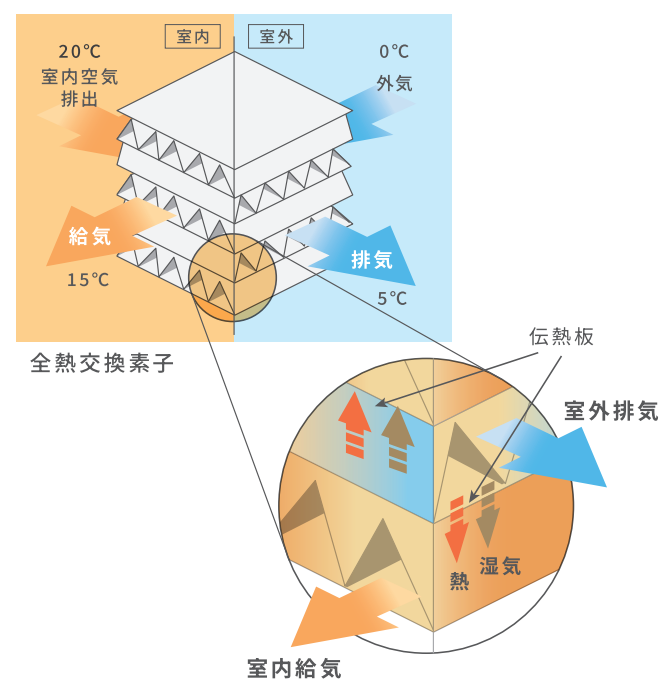
高気密住宅だからこそできる、全熱交換型換気システム。熱交換気は、排気時に失われがちな熱を回収し、給気時に再利用することで、空調負荷を軽減し、冷暖房コストを抑制します。特に冬は、冷たい外気を室内温度に近づけてから供給するため、室温の低下を抑え、快適な室内環境を保つことができます。



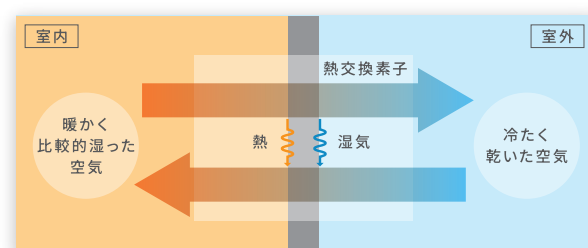
全熱交換型換気システムの仕組み

全熱交換素子は、室内からの排出空気と室外からの新鮮空気が伝熱板を挟んで、混じることなく温度と湿度を伝えます。

FY-20KW(強運転)の場合



夏の場合 室外の暑く湿った空気は、全熱交換素子を通過することにより、冷房されて涼しく比較的乾いた室内の空気に熱と湿気を奪われて室内に給気されます。



冬の場合 室外の冷たく乾いた空気は、全熱交換素子を通過することにより、暖房と適度に加湿された室内の空気から熱と湿気を与えられ室内に給気されます。



足元から広がる 心地よいぬくもりを床暖房で

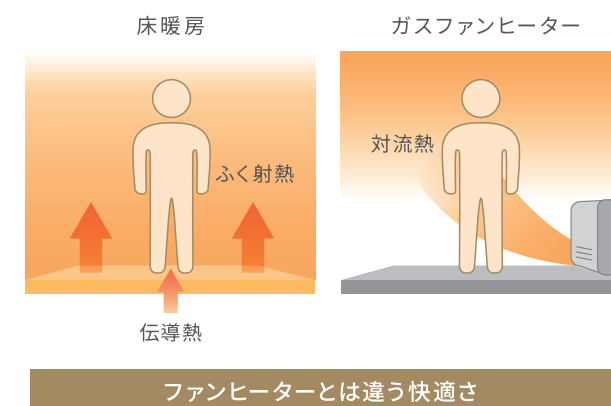
すぐに足元からじんわりと温まる、心地よい暖かさ。

床暖房は、部屋全体をムラなく暖め、乾燥しにくいのが特長です。

小さなお子様やペットがいるご家庭でも安心してお使いいただけます。

頭寒足熱だから体にやさしい

床暖房は、東洋医学で重視される「頭寒足熱」を自然に叶える暖房。足元からじんわりと温まるので、冷えやすい体も芯から温まります。頭寒足熱の心地よさは、まるで太陽の光を浴びているような、自然な温もり。部屋全体をムラなく暖めるので、どこに座っても快適な温度に。ストーブのように、特定の場所だけが暑くなるということもありません。冷え性の方やご高齢の方におすすめです。



部屋を広く使えるから スッキリ快適

床暖房なら、部屋の隅々まで暖かくなるので、家具の配置も自由自在。広々とした空間で、快適に過ごせます。

空気を汚さない クリーンな暖房です

床暖房は、空気を汚さないで、アレルギーをお持ちの方や、小さなお子様、ペットにも安心です。ホコリが舞い上がりにくいため、お部屋をいつも清潔に保てます。

設計住宅性能評価

次世代まで住み続けられる家



住まいには「等級」があります

車や家電のように、家にも性能があります。等級で分かりやすく表示されているので「安心」。次世代、子供たちに引き継げる家、省エネで快適な家を目指すために、こだわりのある項目で、高い等級を取得することができました。

設計住宅性能評価書のマーク
(新築住宅)



設計図書段階の評価結果をまとめたもの

「株式会社アイム・ユニバース」が取得した設計住宅性能評価項目一覧

構造の安定に関すること

- 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止) 地震に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさを等級で表示 **等級3**
- 耐震等級(構造躯体の損傷防止) 地震に対する構造躯体の損傷の生じにくさを等級で表示 **等級3**
- 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止) 暴風に対する構造躯体の倒壊、崩壊等及び損傷の生じにくさを等級で表示 **等級1**又は**等級2**

劣化の軽減に関すること

- 劣化対策等級(構造躯体等) 構造躯体等の大規模な改修工事が必要とするまでの期間を伸長するため必要な対策の程度を等級で表示 **等級3**

維持管理・更新への配慮に関すること

- 維持管理対策等級(専用配管) 専用の給排水管・給湯管及びガス管の清掃、点検及び補修を容易とするため必要な対策の程度を等級で表示 **等級3**

温熱環境・エネルギー消費量に関すること

- 断熱等性能等級 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止を図るための断熱化等による対策の程度を等級で表示 **等級5**
- 一次エネルギー消費量等級 一次エネルギー消費量の削減のための対策の程度を等級で表示 **等級6**

住宅性能評価を受けた住宅に対するメリット

評価書の交付を受けた住宅は、住宅ローンの金利引き下げや地震保険料の割引等を受けられる場合があります。

- ☑ 民間金融機関による「基準住宅ローン」の金利引き下げ(例:フラット35S)
- ☑ 耐震等級に応じた「地震保険料」の割引
- ☑ 「贈与税」の非課税枠の拡大
- ☑ 「住宅かし保険」の加入や「長期優良住宅」の認定手続きの簡素化

長期優良住宅

いつまでも安心・快適な住まい

「長期優良住宅」 とは...

長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅の建築・維持保全に関する計画を「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき認定するものです。平成21年6月4日より新築を対象とした認定が開始され、平成28年4月1日からは既存住宅の増築・改築を対象とした認定も開始されました。株式会社アイム・ユニバースは「長期優良住宅」の認定を受けております。

「長期優良住宅」(新築)のメリット

- 住宅ローンの金利引き下げ
- 地震保険料の割引
- 税の特例措置
 - 登録免許税
 - 不動産取得税
 - 固定資産税



「株式会社アイム・ユニバース」が満たした「長期優良住宅」の認定基準

「長期優良住宅」の認定を受けるためには、次のような認定基準を満たす必要があります。



耐震性

極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図るため、損傷のレベルの低減を図ること。

- 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止) **等級3**



劣化対策

数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること。

- 劣化対策等級(構造躯体等) **等級3**



維持管理・更新の容易性

構造躯体に比べて耐用年数が短い設備配管について、維持管理(点検・清掃・補修・更新)を容易に行うために必要な措置が講じられていること。

- 維持管理対策等級(専用配管) **等級3**



省エネルギー性

必要な断熱性能等の省エネルギー性能が確保されていること。

- 断熱等性能等級 **等級5**
- 一次エネルギー消費量等級 **等級6**



居住環境

良好な景観の形成その他の地域における居住環境の維持及び向上に配慮されたものであること。

地区計画、景観計画、条例によるまちなみ等の計画、建築協定、景観協定等の区域内にある場合には、これらの内容と調和を図る。



住戸面積

良好な居住水準を確保するために必要な規模を有すること。

- 一戸建ての住宅 75㎡以上

※少なくとも1の階の床面積が40㎡以上(階段部分を除く面積)

※地域の実情を勘案して所管行政庁が別に定める場合は、その面積要件を満たす必要がある



維持保全計画

建築時から将来を見据えて、定期的な点検・補修等に関する計画が策定されていること。

- ・住宅の構造耐力上主要な部分
 - ・住宅の雨水の浸入を防止する部分
 - ・住宅に設ける給水又は排水のための設備
- 政令で定めるものについて
仕様並びに点検の
項目及び時期を設定



災害配慮

自然災害による被害の発生の防止又は軽減に配慮されたものであること。

※物件によっては「設計住宅性能評価」「長期優良住宅」に該当しない場合もございます。詳細は弊社スタッフまでお問い合わせください。

1 安心の長期保証

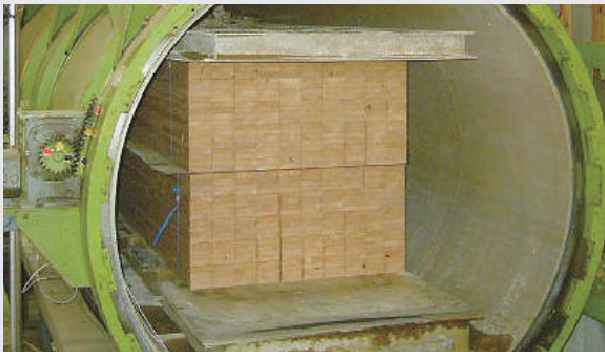


永く安心してお住まいいただくために。アイム・ユニバースの建物保証



地盤保証20年

建物の着工前に、不同沈下のない住宅の建設に適した土地か否かを、入念に調査します。新居の完成・お引き渡し後最長20年間に渡り、万一の不同沈下によって建物の損害が発生した場合には、その損壊した建物および地盤の修復工事を行うことを約束します。



白アリ保証5年

お引き渡し後5年間にわたり、万が一白アリの被害が発生した場合には、保証約款にもとづいて1,000万円までの補償を行います。しっかり定期点検をすることで、白アリ被害の早期発見や被害を未然に防ぐことができます。定期的なメンテナンスにより、保証を更新いたします。



住宅瑕疵担保責任保険10年

「構造耐力上主要な部分及び雨水の浸入を防止する部分」に瑕疵が判明した際、その補修費用が補填されます。保証期間中に施工会社が倒産してしまった場合でも、法律で義務付けされた瑕疵担保責任を履行できるように、保険法人が代わりに瑕疵担保責任を引き継ぎます。



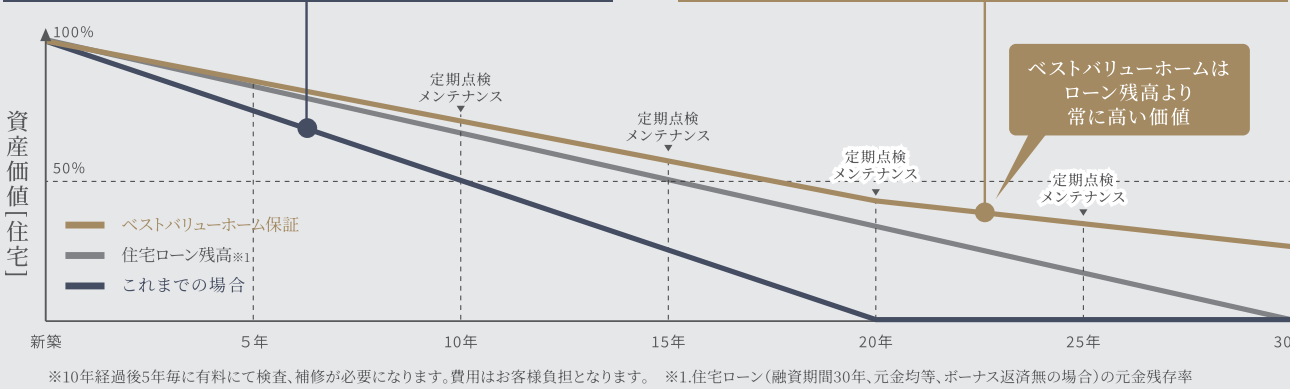
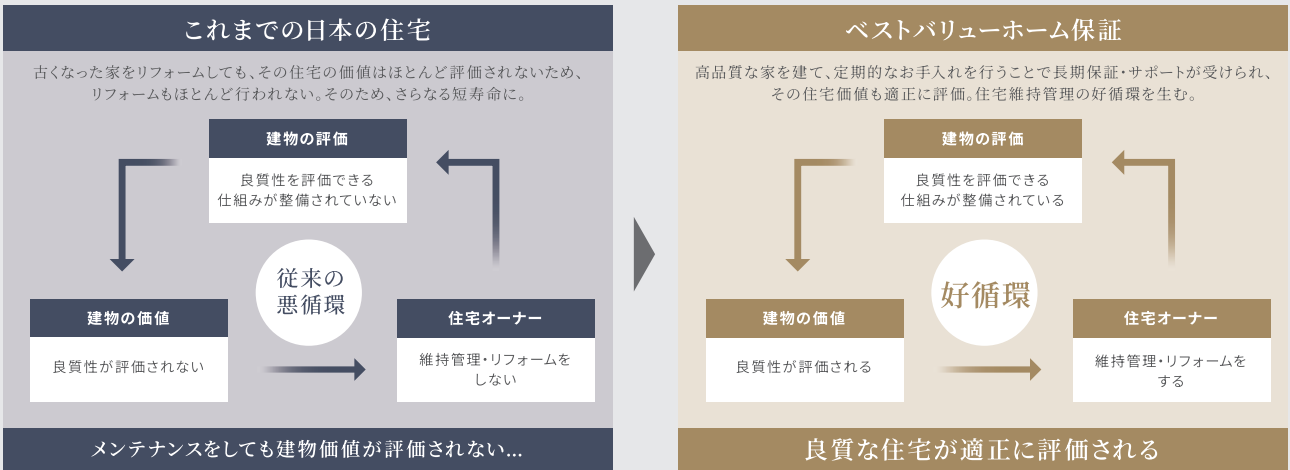
屋上テラス防水保証10年

屋上テラスの施工には、FRP(繊維強化プラスチック)を採用しています。FRPは軽量かつ防水、耐熱性・耐食性・耐候性などに優れており、水槽、バスタブ、屋根材等としても広く使用されています。その防水性能に関して10年間保証いたします。万一の不具合の際には、補修費用を補填します。

1 建物価値保証

良質な家が適正に評価される仕組み

日本の住宅は20年程度で価値が無くなる耐久消費財でした。ベストバリューホームにより、建物価値が適正に評価・保証され、大切な資産となる住宅へと生まれ変わります。



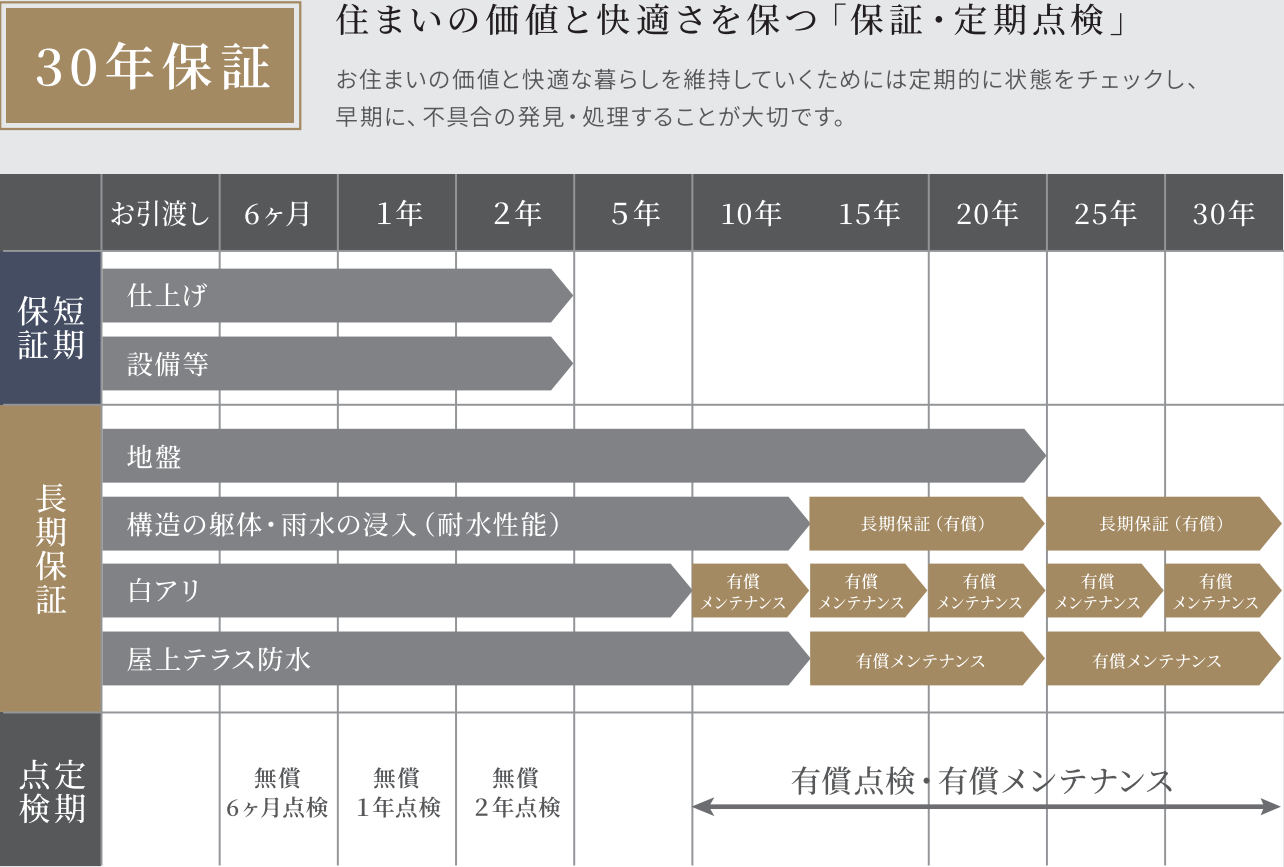
価値ある家を未来へ残す ベストバリューホームの価値保証

10年周期での検査更新、最大500万

ベストバリューホームの企業認定を受けた建設会社が施工し、お客様と一緒に「住宅の長寿命化」「長期の維持 安全」に取り組むことでベストバリューホームの住宅認定が受けられます。認定された住宅は新築時の詳細なデータから将来の建物価値が標されその価格を「建物価値保証」として保証を受けることができます。将来において住み替えが必要になり、ご売却される際に保証額を売却価格が下回った場合「建物価値保証」がその差額(最長20年間・最大500万円まで)の保証を受けられます。

一般の評価建物		ベストバリューホーム 建物価値価格	
新築時	2,700万円(税抜)	新築時	2,700万円(税抜)
5年後	2,025万円(税抜)	5年後	2,295万円(税抜)
10年後	1,350万円(税抜)	10年後	1,890万円(税抜)
15年後	675万円(税抜)	15年後	1,485万円(税抜)
20年後	0万円(税抜)	20年後	1,080万円(税抜)
ベストバリューホームは20年後で仮に0円でも 最大500万円の保証が受けられます			

※建物本体工事を対象として表示しています。(その他、外構、造園、仮設工事は除く)



- 短期保証

仕上げや設備などに発生した不具合が対象になります。
保証期間は部位によって異なり、保証書記載の保証開始日から最長2年となります。
- 長期保証

地盤の不同沈下、基本構造部分の瑕疵及び瑕疵が原因の不具合、白アリ被害、
屋上テラスの不具合（防水）が対象になります。
保証期間は、保証書記載の保証開始日からとなります。

有償点検・有償メンテナンス

2年目以降も点検をご希望の方には有償にて承ります
のでお問い合わせください。白アリ等の保証は5年
ごとに、屋上テラス防水は10年ごとに有償メンテナンス
を行うことで保証を更新いたします。

定期点検項目

日々の清掃や簡単なメンテナンスで、家の機能は長持ちします。
定期的な点検を行いながら、住まいのメンテナンス計画のご参考にしてください。

点検部位	主な点検項目
屋外部分	
外壁	腐朽・さび・割れ・シーリングの破断
雨どい	詰まり・はずれ・ひび
軒裏	腐朽・雨漏り・はがれ・たわみ
バルコニー	手すりぐらつき・腐朽・さび・割れ・床沈み
屋内部分	
壁（室内）	割れ・雨漏り・目地破断・さび
階段	沈み・腐朽、さび、割れ
建具	
玄関建具・窓	隙間・開閉不良
雨戸・網戸	さび・建付不良
窓枠・戸袋 などの木部	さび・雨漏り・コーキング不良
内部建具	隙間・開閉不良・破損

アフターサポート

当社の強みである一貫体制、プランニング力を活かし
住まいのメンテナンスだけではなくライフスタイルの
変化に合わせたリフォームのご相談も承ります。

点検部位	主な点検項目
設備	
給水管 ・水洗器具	水漏れ・赤水・パッキンの異常
排水管 ・トラップ	水漏れ・詰まり・悪臭
台所シンク ・洗面設備	水漏れ・割れ・腐食
トイレ	便器周りの水漏れ・水洗タンク周りの水漏れ
浴室	タイルなどの割れ・ジョイント部の割れ・隙間
給湯器	水漏れ・ガス漏れ・器具の異常
換気設備	作動不良
電気設備	スイッチ作動不良・破損・コンセント破損